

2019年11月29日
 株式会社ベネッセホールディングス
 代表取締役社長 安達 保

第12回ベネッセ賞 一次審査選抜者発表

株式会社ベネッセホールディングス（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：安達 保）とシンガポール美術館（SAM）により、第12回ベネッセ賞の一次審査選抜者発表が行われ、以下の5名のアーティストが選出されました。

シンガポール・ビエンナーレ2019において、その主催者であるSAMとともにベネッセが開催する「第12回ベネッセ賞」は、シンガポール・ビエンナーレに出展するすべての参加アーティストの中から、既成概念にとらわれず、実験・開拓精神に富み、ベネッセグループの企業理念である「Benesse=よく生きる」につながるような作品づくりの可能性が期待されるアーティスト1名（1組）に授与されます。一次審査は、ベネッセとSAMに指名された、国際審査員5名によって行われ、5名（5組）のショートリスト受賞者を選出します。その後、ベネッセアートサイト直島内で最終審査を行い、最終受賞者（ベネッセ賞）1名（1組）は2020年1月11日の授賞式にて発表されます。受賞アーティストには、株式会社ベネッセホールディングスより、ベネッセアートサイト直島での作品制作の機会またはベネッセアートサイト直島による作品収蔵の機会と、賞金300万円が授与されます。

一次審査選抜者

	Amanda Heng / アマンダ・ヘン (シンガポール)
	Dusadee Huntrakul / ドウサディ・フントウラクーン (タイ)
	Haifa Subay / ハイファ・スベイ (イエメン)
	Hera Büyüktaşçıyan / ヘラ・ブーユックタスチアン (トルコ)
	Robert Zhao Renhui / ロバート・ジャオ・レンホイ (シンガポール)

審査委員

- ・アデ・ダルマワン アーティスト／「ルアンルパ」メンバー(インドネシア)
- ・ユージーン・タン シンガポール美術館 館長／ナショナル・ギャラリー・シンガポール 館長(シンガポール)
- ・ゴン・ヤン 上海当代芸術博物館 館長(中国)
- ・バレンタイン・ウィリー イルハム・ギャラリー ディレクター(マレーシア)
- ・三木 あき子 ベネッセアートサイト直島 インターナショナルアーティストティックディレクター(日本)

審査員コメント

第 12 回ベネッセ賞の最終候補として、シンガポール・ビエンナーレ 2019 の参加アーティスト5名を、審査員満場一致で選出しました。

5 名のアーティストたちは、それぞれ異なる出身、世代、バックグラウンドですが、全員がベネッセアートサイト直島を取り巻く環境や歴史、コミュニティを反映し、将来、刺激的な作品を生み出す可能性を共有していると考えます。

ここから最終的に選ばれる受賞者が独自のアプローチを通して、瀬戸内海の島でどのような作品を生み出してくれるか、審査員一同、大いに期待しています。